

Uyemura, T. - On a Japanese trap-door spider,  
*Acattyma Roretzi*, from Tenranzan.

## 天覽山でカネコタテグモを探るの記

植 村 利 夫

東京市瀧野川區西ヶ原町310

〔昭和11年9月5日受領〕

奥武藏天覽山に於ける第1回蜘蛛採集會の概況は本誌第2號に報じたのであるが、兎に角當日の收穫は豫期以上であつた事は確かである。それは此所に報告せんとするカネコタテグモ *Acattyma Roretzi* L. Kock 1877 の♀一頭を採集し得た一事だけからでも斷言し得る事だと思ふ。

時は採集會當日即本年7月5日午後2時頃であつた。午前中登つて來た道の反對側へ下りかけた一行はあまり面白くなさうだとて再び頂上を経てもと來た道を下る事に決定した。予は一行より遅れてウノメ・タカノメ・クモトリマナコを光らして何か手ごたへのある品がないかと探し廻つてゐたが、同僚の聲が聞えなくなつたので大急ぎで坂を上りはじめた。其の時あまり坂が急だつたので思はず松の根元の蘚類にすがつた。オボルレバワラニモスガルと云ふが、體重18貫の小生も小さな蘚類につかまつて漸く沁り落ちるのを防がうとしたのであつた。而しあまり急峻だつたのでやはり一二尺ズルズルと沁つた。そしてつかんでゐた蘚類が一塊ボカツとはげてとれた。その途端、さすがはクモトリの名人だ。沁り落ち乍ら眼球の底に焼きつくが如く映じたのは丁度今はぎとれつつある蘚類の下を地中に入りこんでゐる管狀の蜘蛛の住居であつたのだ。ア

ツ！ トタテグモの巣だ！……と思つて其のはぎとれた蘇類をみると成る程其の表面に戸蓋がついてゐる。即トタテグモの住居が蘇のはぎとれたのと共に中央から切斷されたのであつた。さては天覽山にも浮世離れて戸を立てた蜘蛛がお棲み遊ばすかと一人言云ひ乍ら安全な足場をつくり、やがて地中深く手をさしこんで住居の底から静かに追ひ出し奉つたのが、多分キシノウヘトタテグモであらうと思つたのに、豈圖らんや全然未見の種類である。早速管瓶に幽閉しおもむろにおろがみ奉るに、シメタ！ 中窩が縦向ではないか。これだ！ 天下の珍品カネコトタテグモだ。餘りの嬉しさに足場の危険を忘れて飛び上つたと見え忽ち二三間ズルズルと迂り落ちた。でもキグチコヘイハ シンデモ ラツパワ クチカラ ハナシマセンデシタと同様蜘蛛は絶対安全でしたから御安心を願ふ。さてそれからズボンの汚れるのも忘れて附近を荒し廻ること約二十分間。而しつひに此の一頭以外にはどうしても珍寶を探しあてる事が出来なかつた。やゝありてボカンと我にかへつた時は四邊何だかうす暗く、同僚の聲も、茶店の人聲も、蟬の鳴聲も聞えてはこなかつた。

タホレテモ タダデハ オキヌ と云ふが、クモトリにかけては正に小生はスベツテモ タダデハ スベラスの自信を以て鼻高々に此所に珍寶カネコトタテグモ採集の経過を報じた次第である。

最後にカネコトタテグモの珍品たる所以を附記しておく。此の蜘蛛が初めて記載されたのは1877年で、命名者は例のコツホ氏である。勿論日本産の標本によつて記載したのではあるが、産地も何もわかつてはいなかつた。それが第2回目の標本を探しあてたのが本種の和名をなす(岸田久吉氏命名)所の金子光司氏である。同氏は今は茨城縣師範學校にお出でになつてゐるが、以前長らく長野縣師範學校に職を奉じておられ、随分御熱心に同縣の蜘蛛を御研究になられたのであつて、數種の研究報告をも出しておられ、本邦蜘蛛學開拓の大先輩として小生は常に敬意を表してゐるお方であるが、其の時代に此の珍品を同縣下伊那郡にて御採集に成功なされたのである。今同氏が御採りになつた貴重な

1♀が同師範學校博物館にシナノトタテグモの和名のもとに保存されてゐるとの事である。爾來十數年蜘蛛研究家が文字通り寶の如く探しもとめた此の珍品が咎として其の姿をあらはさなかつたのであつた。これが今回天覽山に於て偶然にも日本に於ける第2頭目の標本として、而も意義ある東亞蜘蛛學會主催第1回蜘蛛採集會に於て、更に新產地として、發見し得たのであるから、予が口を大にして宣傳し、又特筆大書する所以もお解りになられた事と思ふ。尙本種は採集例が少ないばかりでなく、他のトタテグモと違つて中窩が縦向と云ふ極めて變つた種類で、分類上からも特に珍種とされるもので、外國でも此の仲間是非常に少ないものである。最近岸田久吉氏は此の蜘蛛を基本としてカネコトタテグモ科 Fam. ACATTYMIDAE をつくられた。中窩縦向が他のトタテグモと分つ主要なる特徴である。

(昭和11年8月5日稿)

Fujita, M. — *Caddo medama* Kishida found  
in Prefecture Fukui.

## メダマザトウムシ福井縣に産す

藤 田 衛

福井縣坂井郡鶉村

[昭和11年10月5日受領]

筆者本年8月上旬福井縣大野郡奥地にて數種のザトウムシを採集し得たり。過日岸田先生に御査定を御依頼した處、超珍品とも云ふべきメダマザトウムシ